

1975.1.17

東京 諸株談話会

昨年12月22日に行なひました三会合開催会の通知の返信にかいだまくられました近況など紹介いたします。

「いつも御連絡いたいとも参加できず申し訳なく思います。3年生担任で遠路指導に忙しい日々を送っております。何かお発表できることの資料は整っていますので、どういった事実かあの? KISHIDAIAへ載せようかと思っております。一中略一茨城からは茅根先生のお發表があるようですが、耳聴できず残念です。例会の盛会をお祈り致します。」

(茨城・菅原洋平)

「談話会に入つてから会に出席することも、会議に積極することも少くないが、会のみなさんの活動力とその成果を知りうらやましく思つていつもばかりです。株・株の知識の増加に全精力を傾けたいと思います。」

(大阪・吉田守)

(右はより続)

「新・株額の植物遺伝の研究(DJ)、ヒメヨリオントの関係」となりますか?

集団の力を發揮しよう。
(松本記)

例会参加者へ

KISHIDAIA おFIZM 通信用
の原稿・記事を送って下さい。

去る1月5日 松本定に?、栗原、梅田・小野・大川、島田・新井、毎の名を加集め新年会兼運営委員会(?)を行なひました。本会代表者の萱嶋先生の欠席で(校務のために残念でした)、私が欠けたようにしたが、いろいろお話ししました。

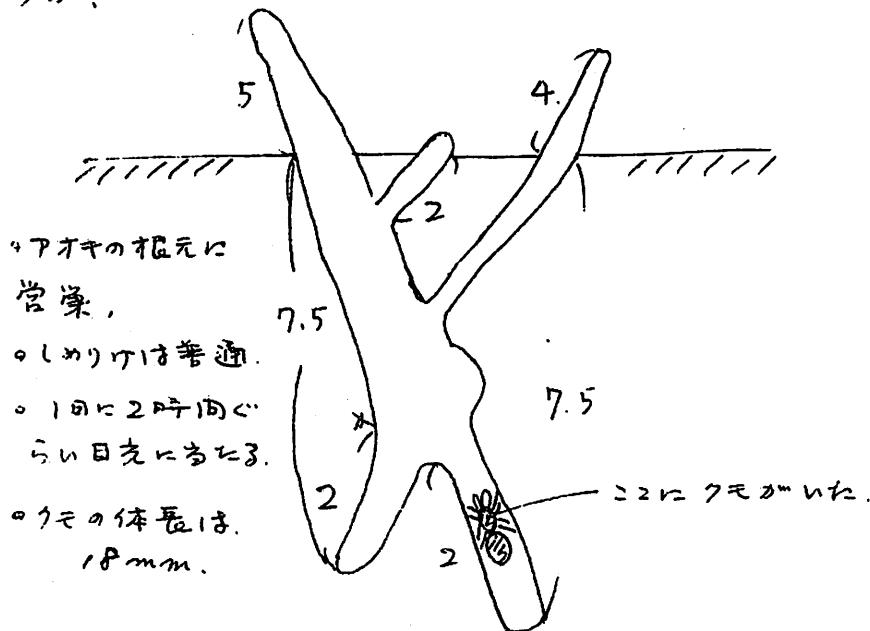
談話会員といつも集まつてから、大きめ集団的な力を發揮させたいという意図で、一人一人の持才を集合させようと大きな結果を出さう、個人的に生まれた革新的なアイデアをあつめ何かをつかもう、地理的な障害をのりこえよう、という意見がみえて出され、今年から、いわゆる統一テーマを作つて、出来ることは、それに付いて、活動してつき、との結果を集計すれば、一人がハンドルと23に行つたり、大きな効果を一人つける風潮はあります。それと同時にくらいの手結果は出せばいいから、統一テーマは5つまたは6つを1つに2つと立ち合いました。

「コト」皆さんに提案です。第一回目の試みですが簡単なのがいいのですか、できるだけ的をしほった、具体的な研究テーマを寄せ下さい。

ひとつは春・夏のテーマ?
「ヒメヨリオントの花色について」
ひとつは「~~新井~~」(左空へ続)

お し え て < キ い

昭和12月27日に家で、2"クモの住居を探取していふと下図のようなものをみつけました。このような2"クモの住居は、大変めずらしいと思ひますか? このような例は他にある?"どうか。また、このような住居の出来る原因は、なん?"どうか?



分岐した住居を作った2"クモ。

(343-01 北葛飾郡不八代町本代 3748
今木勝治)

KISHIDAI A No.39 告白

本来なら、昨年やにおとづれすりおすのKISHIDAI A No.39
は原稿不足のため、本年3月頃発行の予定となります。1月中
(1月15日迄のままでいいです) すこは原稿受付との事、連絡あり
ました。掲載原稿は、次のとおりを予定しております。

八木沼健太氏、菅波洋平氏、樋田重雄氏、小野辰嗣氏。
鳴田順一氏、栗原輝代子氏。及M.10大ニュース(1974年)
以上数名、是非名乗り立て下さい。宣しく。

1974年度会計報告
(1974.1.1 ~ 1974.12.31)

収入

前年度繰越金	40,098-
会 費	39,545-
寄 付	4,090-
別刷印刷代	960-
Back No.売上	8660-
収入計	93,353-

支出

Kishidaia No.38 印刷代(会別刷)	19,500-
郵便費 (切手・葉書)	13,475-
文具代 (封筒、ノリ、セロファンテープ、 エヌビーツ.)	2,885-
支出計	35,860-

1974年度残金 57,493-
(次年度繰越金)

以上

会費の収入額には、51年度以降の分と支払未払の会費も含まれていますが、残金は大変多いようにみられます。KISHIDAIAの通信を多く出して密な連絡活動をいたいと思います。

宣しくご協力下さい。

なお、報告についての質問、意見は、専門局・学友会へ願ひいたします。

KISHIDAIA

バンクナンバー

No.3, 5, 6, 7	各50円
No.9, 12, 13, 14, 15	
18, 19, 22, 25	各 50 円
Nos. 16/17, 20/21, 23/24	各100円
Nos. 26/28	250円
Nos. 29/32	400円
No.33, 34, 35, 36, 37, 38, 各200円	

2^回入用の番号をお知らせ下さい。
実量領布します。なお、送付料は別
です。2^回下さい。

KISHIDAIA バンクナンバー
欠号のコピー(代金)
No.1(45円); No.2(45円),
No.4(30円); No.8(75円)
No.10(45円) No.11(60円).

コピー代金は実量ですの
該該会会員とは別にあります。

G.G.シンフソン著(1960)

「Principles of Animal Taxonomy」の訳本から岩波書店
から貰えました。

白上謙一訳(1974)「動物
分類学の基礎概念」です。

発售元の白上氏から貰え
てとかうれしい限りです。白上氏
の著書「生物分類方法」(1972年)
河出書房新社(540円)を共に
貰えましたのであります。

15.5 × 21.6 mm. 272 pp.

3,000円。

東京蜘蛛研究会誌著目録

（コピーに応じます。事務局までご連絡下さい。）

~~下記~~

No.

1. 鹿児久吉 (1971) 東亞における Eresidae の発見.
Atypus, (57): 1-3
1. 九毛音子 (1971) 鹿田先生のヒビキ. *Atypus*, (57): 3
2. 八木沼健夫・新海榮一 (1971) 分布資料. *Atypus*, (55): 33-34
3. 井上明夫・新海榮一 (1969) 尾は頸のクモ. *Atypus*, (57/52): 9-12
4. 新海榮一 (1970) クモの名称 (III) —昔の名前・今の名前—.
~~Atypus~~ KISHIDAIA, (15): 1-6
5. 佐藤正義・関下俊英・新海榮一 (1970) 日本科学教育研究所周辺の生物相 (III). 植物 (第2報)・真正蜘蛛 (第3報). 日本科学教育研究所紀要, (5): 383-394
6. 新海榮一 (1969) " 島市王禅寺付近のクモ (I).
KISHIDAIA, (6): 1-4.
7. 新海榮一 (1969) クモの名称 (II). 一昔の名前・今の名前—
KISHIDAIA, (7): 3-7
8. 小野辰嗣 (1972) 静岡県沼津市のクモ.
KISHIDAIA, (29/32): 1-3
9. 八木沼健夫・新海榮一 (1972) 分布資料. *Atypus*, (58): 43-44
10. 東亞蜘蛛研究会 (1972) ATYPUS, No. 58. 54 pp.
東亞蜘蛛研究会第3回大会講演題目・懇親会雅観・大会
プログラムに懇親会参加者名簿. ごあいさつ・カラシニコロフの呼
吸器官、ツツキドククモ (*Pardosat. insignita*) の卵の保護
嚢について. 上佐生れ信州育ちのスズミグモの生態—
主に造網・産卵・捕食について—. キムラクモの生態分布
について. 香川県のクモ (1). 分布資料. メガネヤカクモとヤ
マヤナクモ. 地質により—奥羽支那アリ回例会・東京蜘蛛
研究会—. LIBRARY (学会図書・学会取扱文献大
7モの文庫大・新刊注目). 著者規定

用語解説 -3-

[中山書店から刊行された谷津内田：動物分類名辞典 pp.1133-1158からの抜粋です。]

a-ecospecies

a-生態種. 深色体数を異にあらいくつかの生態種。
(Valentine, 1949)

Ecospecies

生態種. Ökospezies(独) 生態的にみたリンネ種. 生態種相互間では遺伝子交流が可能であるか. 異種の生存力は低下する。(= ecological species)

Linneons

リンネ種. 主に形態的に他から一目で区別できる種.
Linnean species といふ。

Biological species

生物学的種. biologische Art(独). にかん交配可能であるとの基礎概念. 同一種であると決めた種. 生理的隔離によて他の種から分けられる種.
= category species
(Mayr, 1963)

Cænospieces

集合種. Cönospezies(独) 相互に遺伝子交流が可能な、いくつかの生態種の集まり. 異なる cænospieces 間では、遺伝子交流は不能である。(Turesson, 1922)
cænospieces を書く。

Chemospecies

化學種. Chemospezies(独) 化学的物質により決定される種.

Sibling species

同胞種. Ziwillingsarten, doppelschwertere Arten(独). 形態的に酷似し、生理的に異なり、生理性に隔離されている、主として同属性分布をする複数の種. physiological species, ecological species, dual species, cryptic species なども同じ意義.

Physiological species

生理学的種. physiologische Art(独). 生理学的形質のみによって分けられる種.

Cytospecies

細胞生物学的種. Zytospezies(独). 核型の相異により区別される種.

Dimensional species

有次元種. dimensionale Art(独). 空間、時間、次元を考慮した種.

Non-dimensional species

無次元的種. nondimensional Art(独). 時間、空間などの次元を考慮に入れずに同一時代の单一場所における局所的生物相から見た場合の種.

Ecological species

生態学的種. ökologische Art(独). 形態上は酷似するが、生態学的に相異なる複数の種.

g-ecospecies

g-生態種. 深色体数が等しい、あらいくつかの生態種.
(Valentine, 1949)

- ・熊田寛一氏：豊島園昆虫館より日本国有鉄道へ移られました。
- ・鳴田順一氏：埼玉県下のウモロコシを調査されています。埼玉県でも、動植物を発行する予定とのことで種類が多く、調査しようと頑張っておられます。
- ・新海栄一氏：知らない元はりんごから、詳しいは紹介ください。
- ・須賀瑛文氏：中部ウモロコシ会の中心メンバー。
- ・菅波洋平氏：KISHIDAIA No. 77 氏の論文を読んで下さい。
- ・金木勝浩氏：昨年暮れに入会された最も新しいメンバー、ハイシリティーにあります。
- ・高林桂子：植物の方からかくしく、このところととは若々見えない様子。千葉大にかよっています。昨年12月の合同例会には彦根先生で見せてくれました。1年後輩の栗原氏とは名コンビ。
- ・高橋登：今年法政大学卒業。写真を撮ります。
- ・高野伸二氏：我々の活動をみ守ってくれている大失輩。写真家として飯を食える程、写真技術はすばらしい。例会へ参加して下さるかも、大変な努力をしておからうれしくなります。
- ・田中穂積氏：日本の ~~植物~~ Pictura 著者とおられた方。大勢の情熱家(?)
- ・篠地満男氏、萱鳴先生とのおつき合いをずっとおきから、我々の大失輩。

- ・梅林 力氏：一昨年昨年とお体の調子をお欠難只々はすいほい休業だったとのこと。今年も期待して下さい。あつや→? いた。
- ・山川守氏：スーパー兄実屋勤ム。日曜はたいていダメ。予定が詰まれば、おなかなか会えせん。
- ・米田 宏氏：語学に堪能な方? 昨年も外遊(?)なさって東京由。
- ・吉倉 真：談話会メンバー? いらぬことは大変心強く思っています。ウモロコシの通路などとお話をされていました。どうぞおこなえすか。 イカゲテスカ?

談話会メンバーの紹介、一通りまわりました。紹介出来なかった方は残念ながら情報不足のためです。以下は「自己紹介」を期待します。

金木勝浩氏の質問につづけ是非、回答をおよせ下さい。

談話会連絡のニフネ一人。
「金木勝浩」とモツケますか?
(本年3月)

東京秋林談話会

本部：191 日野市豊田 1896
萱鳴 宗方 0425-81-7128
編集局：211 川崎市中原区小杉町
1-540 小野屋辰司方
044-722-2225
事務局：187 小平市宇園東町25-31
オクダミツル方
0423-42 0906

会員 年 700 円(1月1日~12月31日)
会員 Kishidaia 年 1~2回
談話会連絡 年数回
おそれて原稿まで下さい。